

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	初等教育のためのICT活用1 (ICT_1 for Primary education)		
ナンバリングコード	P12001	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 基礎レベル 教育
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 前期
必修・選択区分	コース必修:こども・情報教育コース		
授業コード	P181201	クラス名	-
担当教員名	坪倉 篤志		
履修上の注意、 履修条件	こども情報教育コース 履修生は必修。履修制限:20名。残席があれば、教職履修生や他コース学生の履修も可。情報リテラシー1・2 単位修得済。課題に対する取り組み等を重視します。出席を欠かさないで下さい。授業時はもちろん、各自の主体的な学内外での取り組みも重要になります。学内外で実施される講習会のサポートなどへの取り組みを推奨します。学生による自主的な勉強会の実施を推奨します。他は備考欄を参照してください。		
教科書	必要に応じて教員が資料を作成し配布します。		
参考文献及び指定図書	eラーニング白書。コンピュータを使わない情報教育アンブレグドコンピュータサイエンス。わかる・なれる ICT支援員: すずめよう!学校のICT活用。		
関連科目	初等教育のためのICT活用2、教職系科目、情報リテラシー1、情報リテラシー2、コンテンツ企画論、デジタルコンテンツ論、コンテンツ制作系科目		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	初等教育におけるICTを活用した教育に関する知識と技能を、座学と演習から学びます。  小学校にてICTを活用した教育において必要な基礎能力について学習します。
授業の概要	初等教育におけるICTを活用した教育について、事例から座学と演習から学びます。初等教育で利用されるICT機材を利用し、ICTを活用した教育において必要な知識と技能について、体系的に学びます。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「演習等形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「共同担当方式」 (3) アクティブ・ラーニング プレゼンテーション 他
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	ICTを活用した教育実践に向けた関心	5点	5点	5点
【知識・理解】	ICT支援員が持つ技術的知識、ICTを活用した授業実践事例	10点	10点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	ICT支援員に求められる技術的知識。ICTを活用した、調査結果のプレゼン資料作成力。レポート作成力	10点	10点	10点
【思考・判断・創造】	ICTを活用する上でのリテラシーや法律の理解と実践	10点	10点	10点
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
レポートの提出、レポートの記載内容。手書き文字の可読性。 課題やワークへの取り組み。  フィードバック方法 ・課題:LMSにてコメントバックと評価、次回授業で講評と解説 ・試験:すべての試験結果は翌週以降に返却する				

○その他
出席登録は授業開始最初の10分、遅刻登録は授業開始最初の20分までとする。所定のシステムで、所定の時間内に、各自で登録作業をしない。登録無き場合、欠席と記録します。 教員が指定するWebシステムやサーバを用いた演習を行います。  第1回授業時に受講場所を申請していただきます。申請場所以外での受講は受講と認めません。 受講場所を変更する場合は、前受講回時に相談をすること。 出席状況・課題提出状況が芳しく無い場合、受講場所を学内に変更するよう指示します。 授業プログラムは、シラバスに沿って実施しますが、受講生の進捗状況や、社会情勢を考慮しながら、再調整することがあります。  課題への評価は、翌授業回の朝に行います。 課題の評価が低い場合、点数が付いていない場合、必ず再度取り組み、再提出しない。 課された課題への取り組みが非常に重要です。さらに各自でさらなる技能修得や知識の応用など、自主的な取り組みが非常に重要です。 スケジュール管理、タスク管理も非常に重要です。授業での課題、演習を通して修得しない。 課題などへの取り組みは、友人などと相談して取り組むこと可能です。ただし、必ず自分一人で、資料などを見ずに問題解決できる能力を修得してください。(試験などは各個人での取り組みです)  授業内でのスマホの利用は、利用を許可するアナウンスが無い時間帯以外は禁じます。授業内はスマホの電源OFF、カバンの中に片付けていることを前提とします。利用を許可する場合、机の上で、授業に関係する内容での利用に限ります。授業中の無断退席や、授業中の姿勢、授業への取り組みも評価対象です。(授業への取り組みが無いと判断できる場合、事前告知なしに早退や欠席と判断する場合があります。) 課題への取り組みと提出は、特に指定がない限り、各個人での取り組みと提出になります。 他人の提出物を複製した提出物は評価対象外です。 著作権を含む法令違反のある提出物は、評価対象外とします。 後に明らかになった場合、全ての評価結果を見直す場合があります。  技術的な進化がめまぐるしい分野です。各自で日々、この分野に対するニュースや最新技術、コンテンツに触れる取り組みをしない。

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：初等教育のためのICT活用1 (ICT_1 for Primary education)	授業コード:P181201
	担当教員：坪倉 篤志	
学修内容		
<b>1. オリエンテーション</b> 今期の取り組みについて、全体的な説明を行います。		
	予習：ICTを活用した教育について各自で調査しまとめておきなさい。	(約2.0h)
	復習：講義にて解説した課題へ取り組みなさい。	(約2.0h)
<b>2. 小学校教員とは(1)</b> 学校教育が目指すものや、学校教育に求められること、教師に求められることについて解説から学びます。		
	予習：小学校教諭に向け目指すものなどを各自で目を通しておきなさい。	(約2.0h)
	復習：講義で解説されたことについて、まとめておきなさい。	(約2.0h)
<b>3. 小学校教員とは(2)</b> 小学校教育とは(1)の内容に加え、さらに研修制度、服務などについて解説から学びます。		
	予習：小学校教諭に向け、研修生や服務について目を通しておきなさい。	(約2.0h)
	復習：講義で解説されたことについて、まとめておきなさい。	(約2.0h)
<b>4. 学校教育におけるタブレットの基本操作とリテラシー</b> 授業で用いる端末の基本操作について学びます。		
	予習：学校教育でタブレットを使う場合に必要となるリテラシーについて考えておきなさい。	(約2.0h)
	復習：講義で解説されたことについて、まとめ、課題を提出しなさい。	(約2.0h)
<b>5. ICTを活用した教育(1)</b> ICTを活用した教育を支える環境や技術と資格について学びます。		
	予習：教育でICTを活用するために必要となる環境や技術、資格について調査しておきなさい。	(約2.0h)
	復習：講義で解説されたことについて、まとめ、課題を提出しなさい。	(約2.0h)
<b>6. ICTを活用した教育(2)</b> ICTを活用した教育を支える技術について学びます。		
	予習：教育でICTを活用した教育に必要な技術について調査しておきなさい。	(約2.0h)
	復習：講義で解説されたことについて、まとめ、課題を提出しなさい。	(約2.0h)
<b>7. タブレットを活用したプレゼンツール活用演習</b> タブレット端末を用いたプレゼンテーションに向けソフトの基本操作と、制作に取り組みます。		
	予習：小学校教育に向けて作られたプレゼンテーションソフトについて調査しておきなさい。	(約2.0h)
	復習：プレゼンテーション資料を完成させておきなさい。	(約2.0h)
<b>8. 小学校教育におけるプログラミング入門について(1)</b> グループワークにて、プログラミング教育について解説記事を用い学びます。		
	予習：小学校におけるプログラミング教育について調査しなさい。	(約2.0h)
	復習：解説記事を読み込み、課題に取り組んでおきなさい。	(約2.0h)

○授業計画	科目名：初等教育のためのICT活用1 (ICT_1 for Primary education)	授業コード:P181201
	担当教員：坪倉 篤志	
学修内容		
<b>9. 小学校教育におけるプログラミング入門について(2)</b> グループワークにて、プログラミング教育について解説記事を用い学びます。		
	予習：配布された解説記事について読み込んでおきなさい。	(約2.0h)
	復習：解説された手法を用いて教育する場合に必要な準備について考えておきなさい。	(約2.0h)
<b>10. 小学校教育におけるプログラミング体験</b> 小学校教育におけるプログラミング教育を受講し、体験から学びます。		
	予習：これまでに体験してきたプログラミング教育について振り返りなさい。	(約2.0h)
	復習：解説した手法と、これまでに体験した手法との違いについてまとめなさい。	(約2.0h)
<b>11. コンピュータサイエンスアンプラグド</b> コンピュータを用いない情報教育について学びます。		
	予習：コンピュータを用いない情報教育の手法について、各自で考えておきなさい。	(約2.0h)
	復習：解説した手法に関するビデオを各種視聴しレポートにまとめなさい。	(約2.0h)
<b>12. 情報リテラシー(児童向け)(1)</b> グループワークで、児童向けの情報リテラシーについて2回で学びます。今回は、グループでテーマを決め、各自で事例調査とグループ内発表会、ディスカッションを行います。次にグループ全体でのプレゼン資料作成に取り組みます。		
	予習：小学生向けの情報リテラシーに必要な事項について各自で考えておきなさい。	(約2.0h)
	復習：決められたテーマに対し調査をしておきなさい。	(約2.0h)
<b>13. 情報リテラシー(児童向け)(2)</b> 第12週で取り組んだ事例調査結果について、グループ毎に発表します。発表会の後、各グループの発表内容について、ディスカッションに取り組みます。また、地域の児童に向けた教材や勉強会について検討します。		
	予習：決められたテーマに対し、資料を整理しなさい。	(約2.0h)
	復習：他学習者からプレゼンされた情報について、各自で確認しておきなさい。	(約2.0h)
<b>14. 先進的事例紹介</b> 国内外の先進的なICTを活用した授業実践事例や技術について学びます。		
	予習：ICTを活用した教育についてニュースを調べておきなさい。	(約2.0h)
	復習：紹介された情報から、教育にて活用する手法について考えておきなさい。	(約2.0h)
<b>15. 復習と小テスト</b> 授業全体を通した振り返り・復習と小テストに取り組みます。		
	予習：これまでの資料の整理、試験の準備	(約2.0h)
	復習：小テストの結果から、自己採点を行い、各自で再学習に取り組みなさい。	(約2.0h)
<b>16.</b>		
	予習：	
	復習：	